

みんなで共に！！

本部二期生 (No.1) あめのひかり

幼いころ、自然の中にいるときが、一番自分らしいと潜在的に感じていました。自然との一体感が心地よかったため、幼稚園が苦手な中退した私は、同年代の子が帰宅するまで、近所の土手、山、公園や、時にはちょっと遠出して海まででかけ、春夏秋冬、花や、草や、木や、虫や、動物や、真っ白い雪や、聖霊、妖精（の気配）と共に、（見た目一人で）一日中過ごしていました。（現代では、5、6歳児がそれをできる環境は少ないですね・・・）

私の故郷は田舎なので、星がきれいに見えました。星に魅かれる自分が不思議で、「私はどこから来たのかな・・・」という思いは、ずっとあった気がします。地上のどこにいても、「ここは、本当の私の居場所ではない」と感じるのです。（三次元的には、割と充実していたと思います。）その不思議な感覚は、年を重ねるごとに少しずつ、深まっていき、自己の探求へと繋がっていきました。主には、本を読むことからでした。何年か活動として行っていたこともありましたが、違和感が拭えなかつたため、さらに情報を探し、たどり着いたのがNMC AAでした。

もともと、宗教関係は苦手なで、流行っぽいスピリチュアル関係も、浮ついていてなんか違うと感ずますし、「もっと核心に触れ、かつ、すべてを懸ける位真剣な人たちが揃っていて、なおかつ、日常生活の今いる場所を通して学べること。」という自分のアンテナに触れてくるものは、NMC AAに出会うまでありませんでした。

「シリウスの太陽」を読んだときに、Ai先生に会いたい！！と感ずました。そして、HPから感ずるそのエネルギーが本物であると確信しました。すぐに参加したい旨をメールし、返事を待つ間、ワクワクドキドキしていました。その間、HPを隅から隅まで読みました。私の疑問「私は誰なのか？」「何のために生まれたのか？」「私の使命は何か？」ということの答えが、知りたいことがここに在る！！答えがここで見つかる！！そう、直感しました。

参加して2週間で、偉大なマスターの一人、L・キリスト・サナンダからの「奉仕」というメッセージを初めて受け取りました。それまでチャネリングは、選ばれた特別な人がするものと思っていた私は、降りてくるメッセージに、涙が止まりませんでした。その後も、続々とメッセージがきました。ある時は、メンバーの誰かが、どこかでご神事などを行っているビジョンが来て、あつとい

う間に、目から滝が……。またある時は、夢で、宇宙船の中で、宇宙人？の先生の講義を聞いている皆さんに、翻訳をしている自分が出てきたり、息子の航（わたる）が、地下世界のインナーアースと思われる夢を見たり。

大きな出来事の一つには、息子のハイアーであるユニコーンのミティとのコンタクトがあります。その後も、息子や私のシフトに連動して、アセンション瞑想の中でミティが変容していき、私のハイアーのサティとのコラボがあったり、エロヒムや、その他の存在がメッセージをくれたりしました。これらが、エネルギーの世界で現実におこっていることだと分かるのは、そのエネルギー自体が一点の曇りもなく、ただただ神聖であり、畏敬の念すら覚えるほどだったからです。ただ歓喜の涙が溢れてくるのです。そして様々な存在はとても個性的でもありました。

そのように学びながら、神界との繋がりが確立されてきたようで、ご神事前にも、それに纏わる夢やビジョンを観たりすることもありました。そんな中、ハートや魂のことを学んでいくうちに、核心というのはとてもシンプルであることに気が付きました。「愛」「光」「内なる神」「大いなるすべて」表現は様々ですが、結局、自己の本質、真の自己と繋がることこそ、自己の本源、根源と繋がっていく、ということです。

日本人、日本に住む人ならば、すべての日本人の母であり、太陽である「天照皇太神」にその本源を発します。私は、日本神話などには、あまり興味はなかった方ですが、様々に探求する中で行きつき、答えが一気に来しました。

その瞬間、「あめのひかり」という名前そのものが、私の存在すべてを現している、と感じました。日本人の母であり、宇宙のすべての母である、「天照皇太神」の全き器として、そのエネルギーを伝えていきたい、ただそれだけが真実であると。そこにすべての答えがありました。「私は誰か？」「私の使命は何か？」「何のために、この地球に、日本に生まれたのか？」天照皇太神の光を伝えることこそが、すべてのカギとなる、とエネルギーで瞬時に感じたのです。なぜそうか……。？その答えは、1人ひとりが出していくものであり、その過程こそが、アセンションであると感じています。

そして、自然界や高次を含むすべての生命存在を繋いでいくことができるのが、私たち日戸であるということです！！

みんなの幸福、歓喜、ワクワクの為に！！

あめのひかり